

VI. 安全管理

森の危険な動植物

森づくりは野外での作業のため、危険な生物に出会うことがあります。

六甲山でよく見かける危険な生物を紹介します。

動物



オオスズメバチ

国内最大のスズメバチです。針に毒があり、刺されると非常に危険です。土中に巣を作るため、誤って巣に近寄ってしまうことがあります。



マムシ

国内に生息する毒蛇の一種。大きさは50cm程度です。見つけても触らずその場から立ち去るようにしてください。



ヤマカガシ

国内に生息する毒蛇の一種。奥歯の根元に毒腺があるため深くかまれると危険です。見つけても触らず、その場から立ち去るようにしてください。



イノシシ

リュックサックやビニール袋を奪おうとするイノシシもいるので、特に女性や子供は注意してください。また、子連れのイノシシには近づかないようにしてください。



マダニ

体長2～7mm程度の皮膚から吸血する寄生虫です。足首から入りやすいので、ズボンの裾を靴下の中に入れるなどして、咬まれないようにしましょう。

植物

森には触れるとかぶれる植物や、トゲを持つ植物などがあります。直接触れないように注意しましょう。

●樹液に注意するもの

ウルシの仲間は、樹液でかぶれることがあります。肌の弱い人は触れないように注意して下さい。



ヤマウルシ

ウルシ類はみな、写真のようにたくさん葉が列にならんでつきます。葉裏の脈上に毛が生えるのがヤマウルシです。葉は円く、先はとがり、若いときは葉の縁がとがっています。



ツタウルシ

茎から気根を出して木や岩にはい登ります。葉は写真のように3枚が集まり1枚のように見えます。葉の形は円く、先はとがり、若いときは葉の縁がとがっています。裏面の脈の基部には褐色の毛があります。

●トゲに注意するもの

ハイキング道沿いなど開けて明るい林縁などには、トゲを持つ低木がよく生えています。



ノイバラ

緑色の幹は細く、ほかの植物に寄りかかるように伸びていきます。枝のトゲは、引っかけやすいように下向きに曲がっています。



←5～6月に白い花を咲かせます。

●葉に注意するもの

ススキなどイネ科の植物は、葉のふちで切り傷が与えることがあります。

体調不良・ケガなどの応急処置

野外活動では、通常の救急処置では対処できない特殊な処置が必要なこともあります。命に関わることもあるので、事前に理解して備えておきましょう。

熱中症と熱疲労

野外活動中によく起こる病気に、熱中症（日射病や熱射病）と呼ばれる体温調節機能障害と、熱疲労や熱けいれんと呼ばれる脳貧血のような症状を起こすものがあります。

処置方法はまったく異なるため、正しい判断と適切な処置を行うことが重要です。

■ 見分け方と処置の違い ■

	日射病・熱射病	熱疲労・熱けいれん
顔色 皮膚 発汗 体温 脈拍	赤い 熱く乾いている ない 高い 早く大きい	白い 冷たくベトベトしている 多い 平熱 早く弱い
処置の方法	・全身を冷やす。 ・頭を高くする。	・冷やしてはいけぬ。皮膚が冷たい場合は保温する。 ・頭を下げ、呼吸を楽にする。
	水が飲めれば、少しずつ飲ませてもよい。	

止血の方法

●直接圧迫止血法

出血箇所を心臓より高くし、傷口の上をタオルなどで直接強く押さえる方法で、最も確実な方法です。

傷口の汚れを水で洗い流してから、ガーゼ、ハンカチ、タオルなどの布で止血します。

脱脂綿やティッシュを使うと、傷口に繊維がついて化膿することがあるので、使わないようにしましょう。

●間接圧迫止血法

傷口に枝が刺さっている場合など、直接押さえる事が出来ないときには、傷口につながる血管の途中（傷口より心臓に近い動脈）を強く押さえて止血します。



ハチ、毒ヘビの被害には

ハチや毒ヘビによる被害は手当てが遅れると命を落とすこともあります。

応急処置としてポイズンリムーバーを使うと毒を吸い出すことが出来ます。すぐに毒を吸い出し、可能なところまで救急車に来てもらい、ゆっくり下山して、医師の診断を受けるようにしましょう。



ポイズンリムーバーを用意しておきましょう。

●ハチにさされたら



- ・針が残っている場合には、つまむと毒をさらに体内に押し込んでしまうので、払い落とすようしましょう。
- ・ポイズンリムーバーがない場合は、傷口をつまんで毒液をしぼり出しながら冷水で洗い流しましょう。

●毒ヘビに噛まれたら

- ・傷口から心臓に近い部分をタオルなどで緩くしぼり、毒が全身にまわるのを抑えます。

マダニの被害には

マダニは吸血が終わるまで1週間程度は体から離れません。無理に引きちぎると頭が体内に残って化膿し、重症化や感染症にかかるおそれもあります。また、重症熱性血小板減少症候群のウィルスを持つ場合があり、西日本を中心に死亡する事例が報告されています。マダニに刺されたら皮膚科を受診するようにしましょう。

119番通報プレート（命の道標）

急病や事故で救助を要請する場合、標柱等につけられた「119番通報プレート」の記号（写真では「ち42-4」）を伝えることで、消防隊に正確な位置を知らせることができます。



防災情報

山の天候は変わりやすく、油断していると大きな災害に巻き込まれることがあります。

状況を冷静に判断し、早めの避難を心がけましょう。

防災情報の収集方法

●活動前

テレビやインターネットで、天気・降水確率とともに気象状況をチェックしておきましょう。

●活動時

気象や防災のための情報を迅速に取得できるように、ホームページなどを確認しましょう。

六甲砂防事務所 降雨（雨量）情報

<http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/camrain/rain.php>



六甲山系 「降雨状況通知システム」

rokkoinfo@bousai-mail.jp
に、空メールを送信して登録。



国土交通省 川の防災情報

<http://i.river.go.jp>



ひょうご防災ネット

<http://bosai.net/>



降水情報による1時間雨量の体感目安



- 5～10mm
雨の音がよく聞こえ、たちまち水たまりができる。
- 10～20mm
地面一面に水たまりができ、雨音で話声が聞こえない。長雨のときは警戒が必要。
- 20～30mm
どしゃ降り、傘を差していても濡れる。小河川は氾濫し、がけ崩れの危険がある。
- 30～50mm
バケツをひっくり返したような激しい雨。平地でも避難できる準備が必要。

活動時の注意事項

●大雨

局地的な大雨から身を守るためには、最新の気象情報を確認することが大切です。警報や注意報は発表されていないか、雨雲が近づいてこないか等を確認するとともに、周囲の状況の変化に注意を払い、天気急変に備えることが必要です。

❖こんなときには要注意！

- ・積乱雲（雷雲）が発達する。
- ・真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ・雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ・ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- ・大粒の雨やひょうが降り出す。

●土砂災害

大雨により地盤がゆるむと地すべり、土石流などの土砂災害が発生する可能性があります。異変を感じた場合には、急斜面や谷には近づかないようにしましょう。

❖こんなときには要注意！

- ・山から小石がパラパラ落ちてくる。
- ・斜面に割れ目が出来たり、水が湧き出してくる。

●雷

夏は快晴の時ほど急に雷雲が発達しやすいので、こまめに空を観察し、雷の予兆があったら、早めに下山・避難しましょう。

❖周りに何もいないところから離れる

雷が鳴り出したら、周囲より自分が突出しない場所を探し、しゃがむようにします。建物や車の中に避難できるときは速やかに避難しましょう。

※高い木には雷が落ちやすく、感電する危険があるので、近づき過ぎないようにしましょう。



こんなことを見かけたら

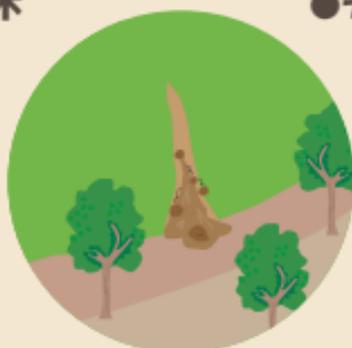
以下のようなことを見かけた場合には、六甲砂防事務所までご連絡ください。



●倒木



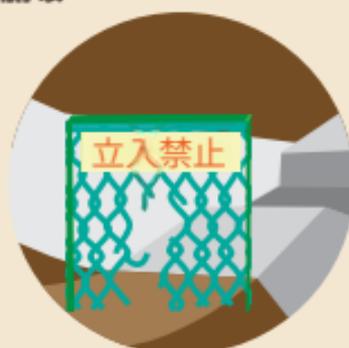
●ナラ枯れ (P13 参照)



●土砂の崩壊



●看板の破損



●フェンスの破損

六甲砂防事務所へ連絡してください

事故が起こったら

森づくりの作業中に事故が起こった場合には、必要に応じて、以下の手順で落ち着いて対応しましょう。



救急医療機関

最寄の救急医療機関は事前に確認しておきましょう。休日は輪番で変更されるため、下記案内先より確認しましょう。

■休日の救急医療機関案内先■

地域	案内先
神戸市	<p>◆電話 神戸市救急医療機関案内 078-846-0099</p> <p>◆携帯端末 神戸市HP携帯版 http://www.city.kobe.lg.jp/m/</p> <p>QRコード</p>  <p>QRコードを携帯電話のバーコードリーダーで読み取れば、すぐにアクセスできます。</p>
西宮市	<p>◆電話 西宮市消防局テレホンサービス 0798-22-9999</p> <p>◆携帯端末 西宮市救急医療情報システムHP携帯版 http://www.nishi119-nemis.net/</p> <p>QRコード</p> 
芦屋市	<p>芦屋市立休日応急診療所（内科・小児科） 住所：芦屋市公光町5-13 電話番号：0797-21-2782</p>

森づくり実施要領の概要

「六甲山系グリーンベルトの森づくり実施要領」より、
現地での活動に係る内容を簡単にまとめています。

これを念頭に活動を行いましょう。

※以下は概要です。詳しくは「六甲山系グリーンベルトの森づくり実施要領」をご確認下さい。

●活動の要件

活動にあたっては次の要件を遵守してください。

- ①森づくりは、1活動地につき年2回以上行うものとします。
- ②森づくりは、不特定多数が参加できるものとします。
- ③活動地、活動地へのアクセス道などにおいては、近隣住民や登山者へ配慮して下さい。
- ④活動に伴うゴミは持ち帰り、活動地及びその周辺における環境美化に努めて下さい。
- ⑤たばこの投げ捨て禁止等、火の始末の注意を呼びかけて下さい。

●制限・禁止行為

次の行為は制限または禁止します。

- ①工作物の新築
 - ②土地形状の改変
 - ③木竹の伐採
(年間活動計画書に明示されたものを除く)
 - ④採取・狩猟
 - ⑤投棄、汚染、汚濁
 - ⑥営利を目的とした行為
 - ⑦その他、土砂災害防止に支障がある行為
- 必要がある場合は事前に協議し、必要な手続きを行って下さい。

●支援内容

「森の世話人」に登録した団体には、国土交通省六甲砂防事務所より以下の支援を行います。

- ①地盤整備（地ごしらえ）や危険を伴う作業（大径木伐採等）
- ②各種技術支援※1
- ③活動地の無償提供※2
- ④整備に必要な一部資材（苗、竹杭等）の支給
- ⑤必要な機材（ナタ、カマ、クワ等）の貸し出し

※1 植樹や森林管理等の技術指導、樹木の同定等。

※2 占有はできません。

森の世話人活動支援事務局連絡先

【メールアドレス】
rokko_gb@lion.ocn.ne.jp

※電話番号については下記ホームページよりご確認ください。
(事務局は民間委託により運営しており、今後変更の可能性もあるため本書には記載していません。)

六甲山地の森づくりホームページ

【ホームページアドレス】
[http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/
pr_media/plant/group/](http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/pr_media/plant/group/)

六甲SABO

市民・企業による森づくり

市域内に広がる六甲山地の自然を豊かに保ち育て、自然環境の強化と自然豊かな生活環境を確保する「六甲山系グリーンベルト整備事業」への市民・企業の方々の参加を促しています。

参加方法

参加をお考えの方は「実施要綱」をご覧ください。「森の世話人活動支援事務局」までお問い合わせください。

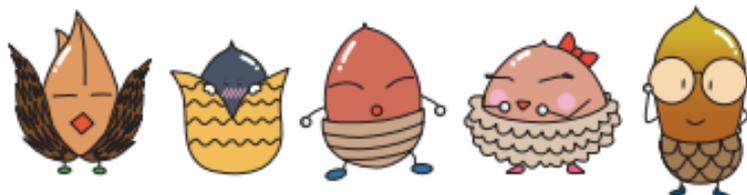
●参加までの流れ

- 実施要綱の策定
- 森の世話人活動支援事務局への問い合わせ
- 活動内容や活動地の選定
- 「種別等」の作成・提出
- 具体的な内容の選定

森の世話人活動支援事務局 連絡先

☎ 06-4300-5104
☎ 06-4300-5801
✉ rokko_gb@lion.ocn.ne.jp

「どんぐり仲間」



ブナ コジイ アラカシ アベマキ コナラ
六甲山系グリーンベルト整備事業イメージキャラクター

**六甲山系グリーンベルト整備事業
みんなの森づくり（実施編）**

森づくりハンドブック

2014年12月 第2版発行

編集・発行 国土交通省 六甲砂防事務所

〒658-0052

神戸市東灘区住吉東町3丁目13-15

TEL:078-851-0535

FAX:078-851-0828

<http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>